

第149期

# 報 告 書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



株式会社 **ニッカトー**

証券コード：5367

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第149期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当事業年度における我が国の経済は、堅調な企業業績や雇用・所得情勢改善などにより、景気は緩やかではありますが拡大傾向にありました。しかしながら米中の貿易摩擦への懸念に伴い輸出が伸び悩み、設備投資も鈍く、外需が減速し企業業績に影響が見られました。かかる状況下ではありますが内需が堅調に推移していることもあり、先行きは依然不透明な状況ではありますが、総じて業績堅調に推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は事業全体で前年同期比9.9%増の10,682,834千円と初めて売上100億円を超える記録となり当初予想も上回ることができました。営業利益につきましては前年同期比12.6%増の1,161,795千円、経常利益につきましては前年同期比14.3%増の1,228,320千円、当期純利益につきましては、かねてより偶発債務として記載しておりましたSNT-07ボールの開発当初の不具合に伴う製品補償引当金の見積額が76,970千円となりましたので、大変不本意ながら次年度以降の決算に影響を及ぼさないためにも特別損失として一括計上させていただきました。結果、当初予想の760,000千円を上回り、前年同期比5.3%増の791,491千円となりました。

セグメントの状況につきましては、年間を通じてセラミックス事業が電子部品業界向けジルコニアボールを中心に好調に推移しました結果、前年同期比8.8%増の売上高8,061,784千円となりました。一方のエンジニアリング事業におきましてもセラミックス事業同様に安定した受注により前年同期比13.6%増の売上高2,621,049千円となりました。また、営業利益では、セラミックス事業は生産効率改善などに取組み一部改善傾向にあるものの、大きく粗利率改善に寄与するまでにはいたらず前年同期比13.4%増の1,174,654千円となりました。一方エンジニアリング事業は12,858千円の損失（前年同期は4,478千円の損失）と厳しい状況となりました。これは昨今の厳しい競争環境における利ざやが低下したこと及び受注の小口先が増えたことによる経費増等に伴うものであります。かかる状況下エンジニアリング事業の組織体制を見直し、一層の効率化及び事業の見直しを実施してまいります。

また、当社目標数値としているROE（自己資本当期純利益率）8%以上、EPS（1株当たり当期純利益）50円以上につきまして、当事業年度の実績はROE7.4%、EPS66円31銭となりました。EPSにつきましては2期連続50円を上回る結果となりました。今後も資本の効率的な運用及び利益率改善等に取組み、更なる目標数値を目指していくものであります。

今後の見通しといたしましては、国内での2020年オリンピック開催や2025年大

阪万博による訪日客の増加見込等明るい材料もあるものの、米中の通商問題、それに伴う景気減速、輸出減等々、不安定要素も多く予断を許しませんが、各企業の設備投資は足元弱含みであるものの、設備投資マインドは堅調で底堅いと考えております。

このような状況のもと、当社は多種多様に増大する客先のニーズにお応えすべく、増産体制の確立と将来の主力製商品の開発を図るべく、「新3ヶ年中期経営計画」におきまして、大幅な設備増強と人的資源に対する投資及び人材育成、さらには今まで以上の合理化を推し進めてまいります。

2020年3月期の業績につきましては、売上高101億円、営業利益9億5千万円、経常利益9億8千万円、当期純利益6億8千万円を予定しております。

これは米中の通商問題に伴う市場環境が芳しくなく、上述の通り全体的な設備投資マインドは堅調で底堅いものの、2020年3月期においては、電子部品業界をはじめ全体的に受注状況が弱含みであり、かつそれに伴い生産見込みも2019年3月期同程度かそれを下回る状況と推測されるため、誠に不本意ながら業績見込みを減収減益とさせていただきます。また、当社は上述の通り今後を見据えた生産効率改善及び更なる生産性向上に取り組んでおり、生産設備の新規導入及び更新に積極的に投資いたします。この投資に伴う減価償却費増等により製造原価率が上がり、結果、営業利益等の2019年3月期比減少要因となっております。引き続き持続的成長及び中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

尚、配当につきましては2019年3月期の実績22円を据え置きとさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上

取締役社長

大西宏司



## ● 経営の基本方針

当社は「経営理念」に基づき、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて、科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献することを基本としています。

また、独自技術を磨き時代に即応した新商品を環境保全に努めて効率よく生産し、適正な価格で販売して、株主各位、顧客、従業員並びに地域社会に貢献してまいります。

さらに、企業基盤の強化と業績の向上を図り、中長期的な企業価値の向上及び持続的な成長に最善を尽くしますとともに、経営情報のスピーディな開示に努めてまいります。

## ● 利益配分に関する基本方針

当社は、経営資源の効率的な運用を行って企業基盤と財務体質の強化を図り、株主各位に中期的な配当の維持に努め、適正な利益還元を行うことを基本としています。

利益配分につきましては、上記観点から配当性向30～50%を目安として配当金を決定し、株主各位のご期待に沿うように努めてまいります。

## ● 中長期的な経営戦略

当社は、得意とする特定分野のセラミックス製品並びに計測機器と加熱装置のリーディングカンパニーを目指しております。

当社の中長期的な経営戦略は、3年間の「中期経営計画」に基づき進めてまいります。

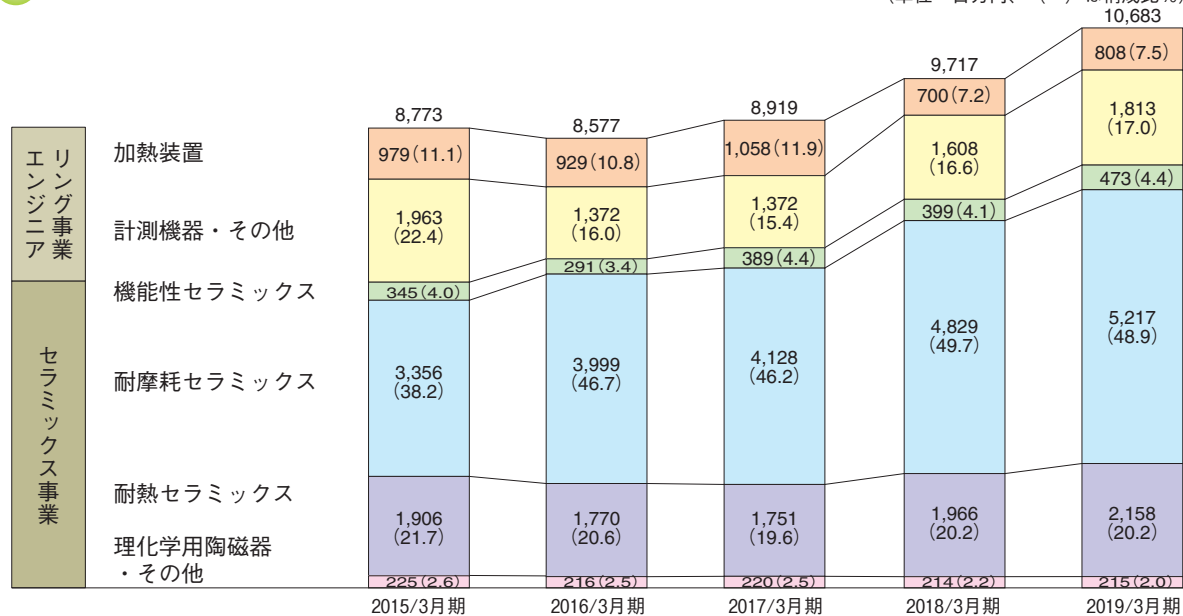
その重要施策は下記の通りであります。

- ① ジルコニアボール並びに構造部材及び圧電体・次世代電池向け熱処理部材の生産能力の増強。
- ② 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と各種部材の生産技術の向上による品質、生産効率の改善による合理化の推進。
- ③ マーケットニーズに対応したセラミックス新製品及びエンジニアリング新商品の開発と拡販。
- ④ 働き方改革実現及び中長期的な労働力の確保並びに人材教育の推進。
- ⑤ 内部統制システムの構築に基づくガバナンス強化及びリスク管理の強化や内部監査の充実による管理体制の整備。

以上の取組みにより、得意とする特定分野のセラミックス並びに計測機器と加熱装置のリーディングカンパニーを目指し、当社の企業価値及び株主共同の利益の確保・向上に努めていく所存であります。

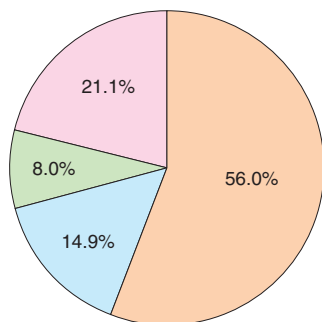
## ● 事業別売上高・構成比

(単位：百万円、( ) は構成比%)



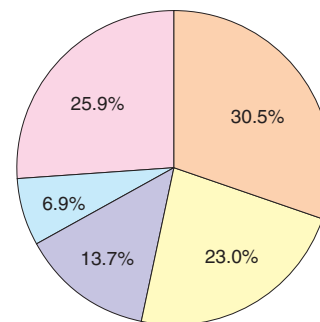
## ● 市場別構成比 (2019/3月期)

セラミックス事業



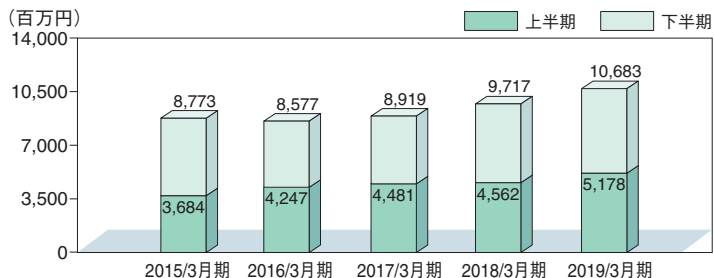
■ 電子部品      ■ 化学・窯業・鉄鋼  
■ 環境・エネルギー      ■ 半導体  
■ 機械・ベアリング      ■ その他

エンジニアリング事業

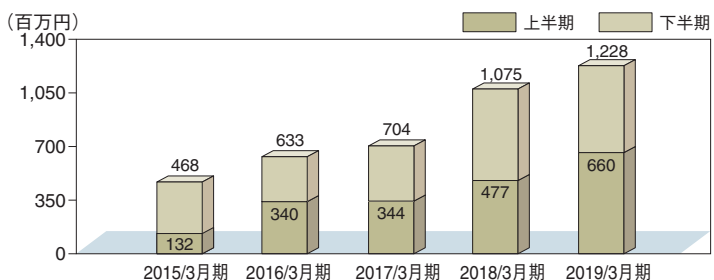


# 業績の推移

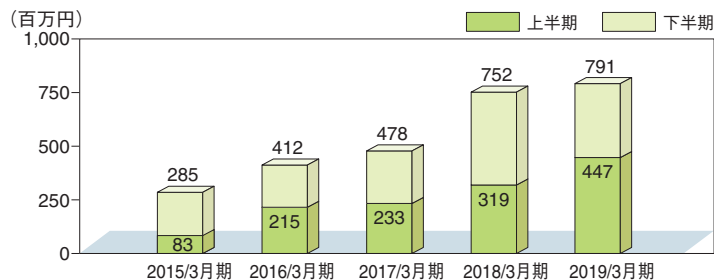
## 売上高



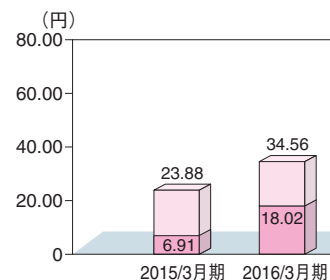
## 経常利益



## 当期純利益



## 1株当たり当期純利益



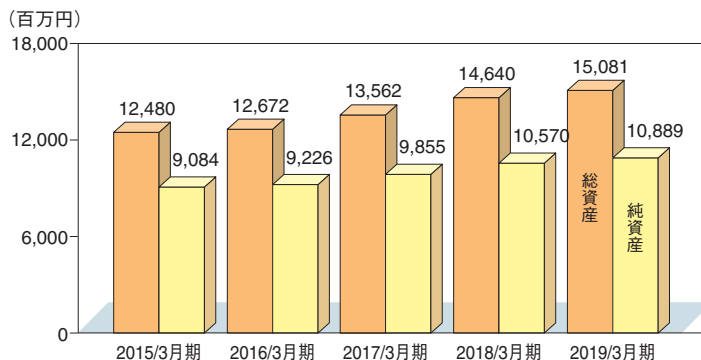
項目	2015年3月期 第145期	2016年3月期 第146期
受注高(千円)	8,703,158	8,753,261
売上高(千円)	8,773,139	8,577,318
経常利益(千円)	468,080	633,470
当期純利益(千円)	285,064	412,493
1株当たり当期純利益(円)	23.88	34.56
純資産(千円)	9,083,573	9,226,170
総資産(千円)	12,480,403	12,672,079
総資産経常利益率(%)	3.9	5.0
自己資本当期純利益率(%)	3.2	4.5
売上高営業利益率(%)	5.0	6.9

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計年度の期首から適用しており、第145期から第148期につ

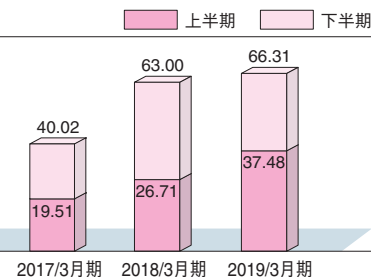
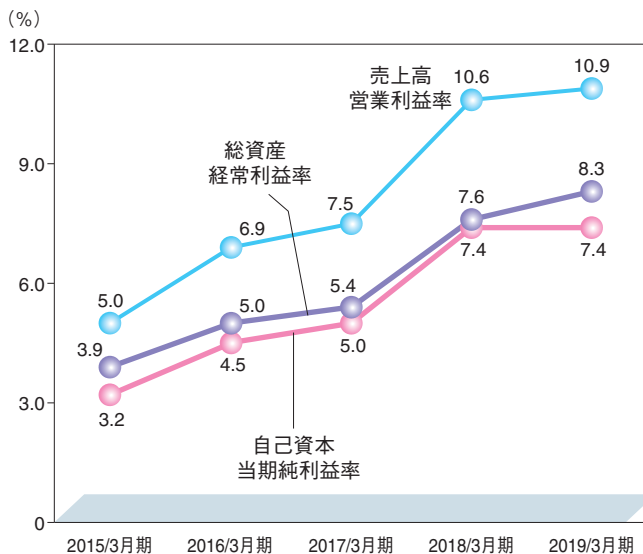
## ● 総資産・純資産

2017年3月期 第147期	2018年3月期 第148期	2019年3月期 第149期
8,818,249	10,472,980	11,002,562
8,919,074	9,716,607	10,682,834
703,641	1,074,881	1,228,320
477,665	751,964	791,491
40.02	63.00	66.31
9,855,153	10,569,600	10,888,836
13,562,399	14,639,969	15,080,961
5.4	7.6	8.3
5.0	7.4	7.4
7.5	10.6	10.9

基準第28号（2018年2月16日）等を当事業年  
 については遡及処理後の数値を記載しております。



## ● 自己資本当期純利益率、総資産経常利益率、売上高営業利益率



# 貸借対照表

資 産 の 部			
期 別	第149期	第148期	第147期
科 目	(2019年 3月31日現在)	(2018年 3月31日現在)	(2017年 3月31日現在)
<b>流 動 資 産</b>	<b>9,135,719</b>	<b>8,699,199</b>	<b>7,919,706</b>
現 金 預 金	2,627,237	2,802,684	2,892,044
受 取 手 形	1,060,563	1,011,272	772,991
電 子 記 録 債 権	582,778	451,447	357,516
売 掛 金	2,105,672	2,159,191	1,948,223
有 価 証 券	—	100,014	100,519
商 品 ・ 製 品	717,977	612,599	525,955
その他のたな卸資産	1,907,461	1,531,047	1,289,475
そ の 他	134,729	35,643	36,279
貸 倒 引 当 金	△700	△4,700	△3,300
<b>固 定 資 産</b>	<b>5,945,241</b>	<b>5,940,770</b>	<b>5,642,693</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,846,332</b>	<b>3,557,002</b>	<b>3,387,352</b>
建 物	1,436,878	1,431,973	1,410,379
機 械 装 置	1,329,210	1,083,481	1,147,342
土 地	790,962	777,718	571,163
そ の 他	289,282	263,829	258,468
<b>無形固定資産</b>	<b>56,469</b>	<b>53,241</b>	<b>57,838</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,042,439</b>	<b>2,330,526</b>	<b>2,197,501</b>
投 資 有 価 証 券	1,920,999	2,215,770	2,092,641
事 業 保 険 掛 金	15,643	15,154	14,676
破 産 更 生 債 権 等	0	0	0
そ の 他	105,796	99,602	90,184
<b>資 産 合 計</b>	<b>15,080,961</b>	<b>14,639,969</b>	<b>13,562,399</b>



(単位：千円未満切り捨て)

負債の部			
期別	第149期	第148期	第147期
科目	(2019年3月31日現在)	2018年3月31日現在)	(2017年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>3,824,618</b>	<b>3,628,936</b>	<b>3,258,332</b>
電子記録債務	378,390	405,954	354,444
買掛金	1,580,258	1,594,648	1,184,429
短期借入金	400,000	400,000	400,000
1年以内返済予定の長期借入金	50,696	117,352	156,508
未払消費税等	23,737	35,278	57,239
未払法人税等	221,947	236,661	144,152
賞与引当金	319,000	275,000	223,000
その他	850,588	564,041	738,558
<b>固定負債</b>	<b>367,406</b>	<b>441,432</b>	<b>448,913</b>
長期借入金	6,500	57,196	100,048
役員退職慰労引当金	159,031	136,399	149,118
預り保証金	74,563	69,556	76,713
資産除去債務	41,396	40,701	40,018
繰延税金負債	6,110	137,578	83,015
その他	79,804	—	—
<b>負債合計</b>	<b>4,192,025</b>	<b>4,070,369</b>	<b>3,707,245</b>
純資産の部			
<b>株主資本</b>	<b>10,456,484</b>	<b>9,940,061</b>	<b>9,379,328</b>
資本金	1,320,740	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438	1,225,438
資本準備金	1,088,420	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	137,017	137,017	137,017
利益剰余金	7,997,612	7,480,654	6,919,676
利益準備金	205,810	205,810	205,810
その他利益剰余金	7,791,802	7,274,843	6,713,866
別途積立金	5,100,000	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	2,691,802	2,174,843	1,613,866
自己株式	△87,306	△86,771	△86,526
評価・換算差額	432,451	629,539	475,825
その他有価証券評価差額金	432,451	629,539	475,825
<b>純資産合計</b>	<b>10,888,936</b>	<b>10,569,600</b>	<b>9,855,153</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>15,080,961</b>	<b>14,639,969</b>	<b>13,562,399</b>

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当事業年度の期首から適用しており、第147期、第148期については遡及処理後の数値を記載しております。

# 損益計算書

(単位：千円未満切り捨て)

科目 \ 期別	第149期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	第148期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)	第147期 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
売上高	10,682,834	9,716,607	8,919,074
売上原価	8,085,921	7,305,078	6,981,798
売上総利益	2,596,913	2,411,529	1,937,275
販売費および一般管理費	1,435,117	1,380,014	1,269,602
営業利益	<b>1,161,795</b>	<b>1,031,514</b>	<b>667,673</b>
営業外収益	<b>77,508</b>	<b>75,080</b>	<b>65,423</b>
営業外費用	<b>10,983</b>	<b>31,714</b>	<b>29,455</b>
経常利益	<b>1,228,320</b>	<b>1,074,881</b>	<b>703,641</b>
特別損失	<b>112,315</b>	<b>3,193</b>	<b>2,685</b>
税引前当期純利益	<b>1,116,004</b>	<b>1,071,687</b>	<b>700,955</b>
法人税、住民税および事業税	369,000	333,000	226,000
法人税等調整額	△44,486	△13,276	△2,709
当期純利益	<b>791,491</b>	<b>751,964</b>	<b>477,665</b>

# 株主資本等変動計算書

NIKKATO

(単位：千円未満切り捨て)

第149期 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
当期首残高	1,320,740	1,225,438	7,480,654	△ 86,771	9,940,061	629,539	10,569,600
当期変動額							
剰余金の配当			△ 274,532		△ 274,532		△ 274,532
当期純利益			791,491		791,491		791,491
自己株式の取得				△ 535	△ 535		△ 535
株主資本以外の項目の 当期変動額						△ 197,087	△ 197,087
当期変動額合計	—	—	516,958	△ 535	516,422	△ 197,087	319,335
当期末残高	1,320,740	1,225,438	7,997,612	△ 87,306	10,456,484	432,451	10,888,936

## 貸借対照表・損益計算書に対する注記

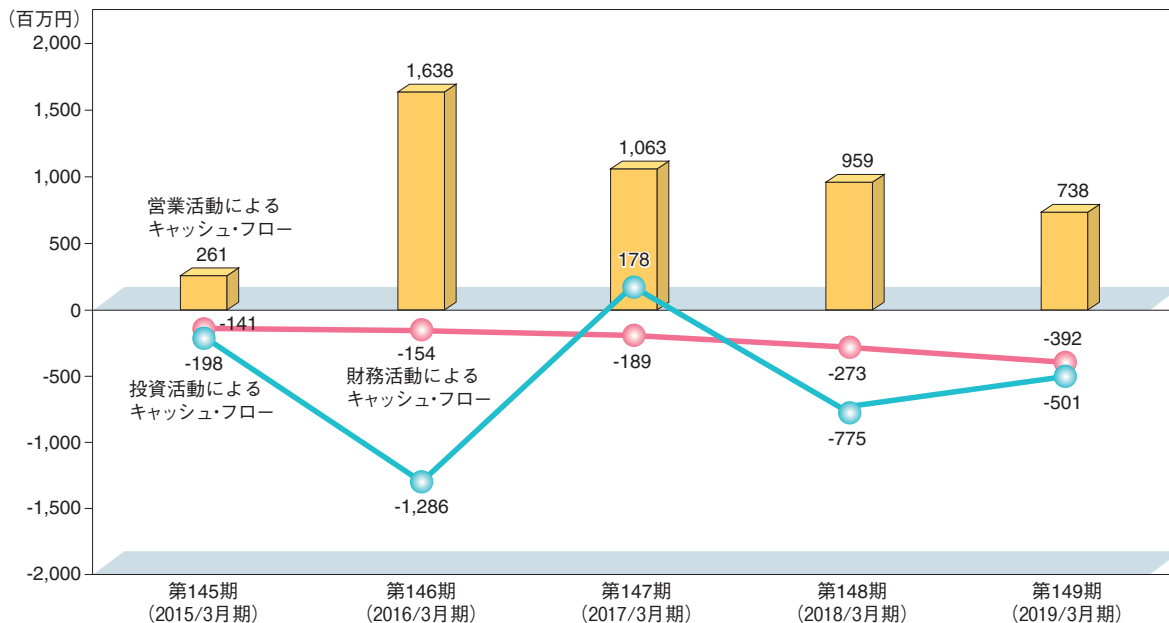
	第149期	第148期	第147期
1. 有形固定資産減価償却累計額	10,262,187千円	9,975,099千円	9,660,148千円
2. 担保に供している資産			
建物、土地	一千円	一千円	268,706千円
投資有価証券	51,396千円	57,836千円	56,805千円
3. 1株当たり当期純利益	66円31銭	63円00銭	40円02銭

## キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、セラミックス事業の好調に支えられ税引前当期純利益1,116,004千円と前年同期比44,317千円（4.1%）増加しました。一方生産効率改善等による棚卸資産の回転率改善に取り組みましたが、売上増に伴う生産増加によりその回転率改善には寄与せず棚卸資産の増加額△481,790千円と前年同期比153,574千円（46.8%）支出が増加いたしました。その結果営業活動によるキャッシュ・フローは738,202千円と前年同期比220,993千円（23.0%）収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産性の改善及び生産能力増加等々、設備の新規導入や更新に積極的に取り組んでおりますが土地の取得が減少したことで、有形固定資産の取得による支出は△625,633千円と前年同期比239,718千円（27.7%）減少となりました。この結果投資活動によるキャッシュ・フローは△501,175千円となり前年同期比274,094千円（35.4%）支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借入がなくなり前年同期比100,000千円（100.0%）収入が減少しました。この結果財務活動によるキャッシュ・フローは△392,473千円と前年同期比119,187千円（43.6%）支出が増加いたしました。



## 【新製品】高機能多孔質セラミックス『CeraFlow™』上市

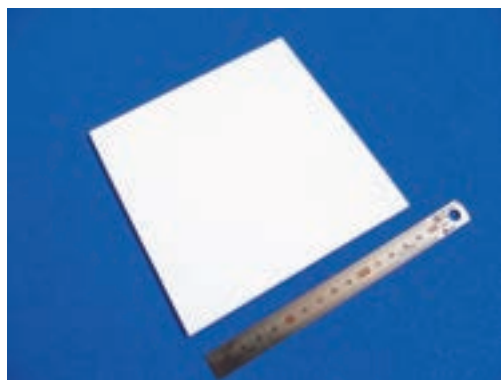
当社は創業以来、理化学用陶磁器をはじめとした熱処理道具材を幅広く世に送り出してきました。近年ではIT関連製品の市場拡大とともに、アルミナ、ジルコニア、マグネシア等の熱処理容器・セッターの需要が高まっております。

中でも、自動車の自動運転や安全性向上、次世代電池などのエネルギー関連分野においては、各ユーザーの焼成技術も日々進化を続けており、使用される焼成道具材につきましても最新のユーザーニーズにマッチした商品開発が求められております。

当社におきましては、これまでに培われた優れた材料技術とフィルター類で磨かれた孔径制御技術を生かし、昨年『CeraFlow™』を上市いたしました。その優れた材料特性から、全固体電池材料の熱処理用道具材や省エネ性を高めた熱処理道具材として注目されております。現在、従来品とともに今後の需要増加に備えた設備投資を進めており、熱処理道具材全体の売上高は、2022年度までに2017年度比1.5倍の伸び率を見込んでおります。



【高機能セラミックス展(東京ビッグサイト)】



【CeraFlow™ 外観】

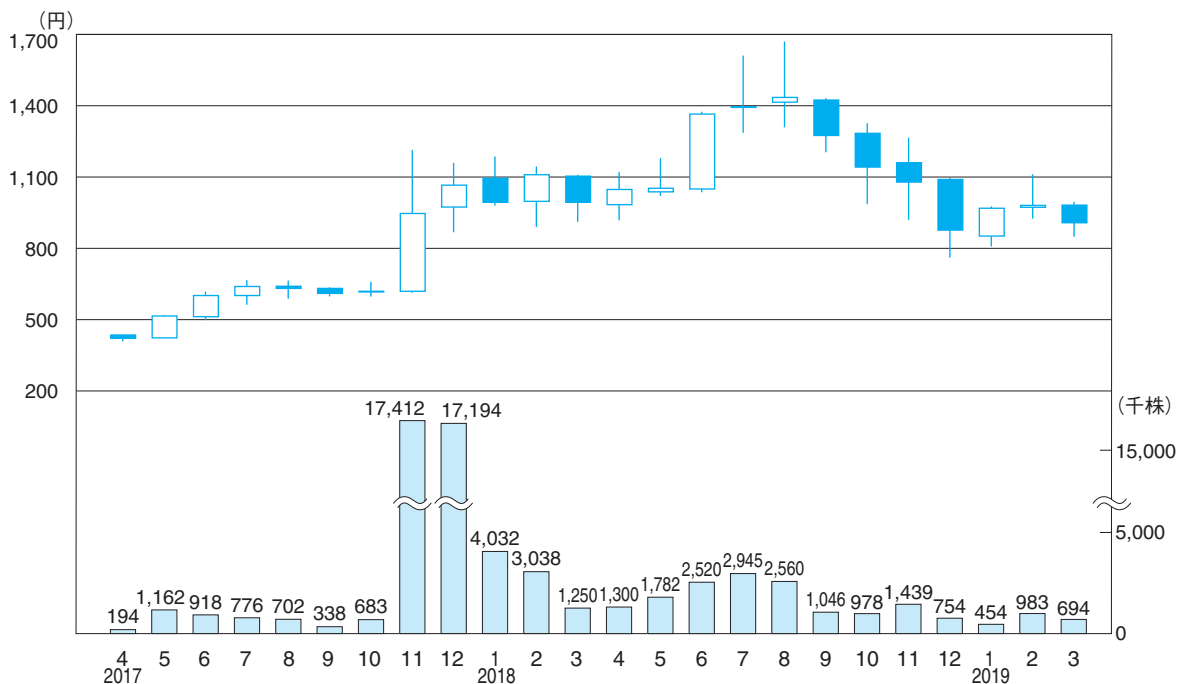
# 株式の状況 (2019年3月31日現在)

● 発行可能株式総数  
37,280,000株

● 発行済株式総数  
11,935,948株  
(自己株式199,747株を除く。)

● 株主数  
3,017名

● 株価・株式売買高



● 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
ニッコー取引先持株会	668	5.6
東ソ一株式会社	599	5.0
株式会社チノー	574	4.8
日本トランスサービス信託銀行株式会社(信託口)	528	4.4
株式会社みずほ銀行	499	4.2
ニッコー従業員持株会	406	3.4
株式会社共和電業	400	3.4
朝日生命保険相互会社	353	3.0
株式会社ツバキ・ナカシマ	300	2.5
西村隆	286	2.4

(注) 当社は自己株式199,747株を保有しております。

## 会社の概要 (2019年4月1日現在)

NIKKATO

- **創 業** 大正2年6月
- **資 本 金** 13億2,074万円
- **事業の内容** セラミックス及び計測機器・加熱装置の製造・販売
- **事 業 所**

本 社	〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号	☎(072)238-3641
東 京 支 社	〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚)	☎(03)5978-3500
セラミックス営業本部	〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号	☎(072)238-4681
名古屋営業所	〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2丁目2番1号(イノフィスビル)	☎(052)269-2440
九州営業所	〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目11番13号(古河大名ビル)	☎(092)736-1285
北関東営業所	〒323-0822 栃木県小山市駅南町1丁目18番12号	☎(0285)27-2551
厚木営業所	〒243-0018 神奈川県厚木市中町1丁目8番24号(リバーサイドビル)	☎(046)296-1155
堺 工 場	〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号	☎(072)238-3643
東 山 工 場	〒599-8247 大阪府堺市中区東山670番地	☎(072)278-0385

## 役 員 (2019年6月21日現在)

代取	表縮	取役	縮会	役員	西 村	隆	取	縮	役	濱 田	悦 男
代取	表縮	取役	縮会	役員	大 西	宏 司	取	縮	役	原 田	俊 和
取		縮		役	飴 山	久 道	取	縮	役	山 崎	直
取		縮		役	安 岡	廣	※取	縮	役	西 村	元 昭
取		縮		役	土 井	祐 二	※取	縮	役	白 間	真 次

(注) 取締役のうち山崎直、西村元昭、白間真次の3名が監査等委員である取締役(うち※印の取締役は社外取締役)であります。

会 計 監 査 人 清 稜 監 査 法 人

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日  
定時株主総会 6月  
配当金受領 期末配当金 3月31日  
株主確定日 中間配当金 9月30日  
公告方法 電子公告とします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載URL (<https://www.nikkato.co.jp/>)

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

(未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続き)

〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行 証券代行部  
0120-288-324 (通話料無料)

(証券会社に口座をお持ちの場合の各種お手続き)

お取引の証券会社

(特別口座に入っている場合の単元未満株式の買取等のお手続き)

〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行 証券代行部  
0120-288-324 (通話料無料)